

## 教えて！まさみ先生!! 音で触れる

「音を聴く」ことは「触れられる」と同じです。  
自然界で繰り返される快い音も、大人の自然な語りかけも、子どもにとっては抱かれているのと同じです。「シャシュショ・チャチュチョにパピペポッ♪」など、息が前に出る音は、くすぐられているような心地になります。

たとえば、一日のはじまりの朝は小鳥の声がきこえたとき、あなたが「あっ、ピピピッ」と言葉にすると、子どもは屋外から聞こえてくる音を意識して聴こうとします。そして再び聞こえてくると、「あっ（聴こえた）」と、あなたに教えてくれます。このとき、子どもは、音の種類だけでなく、音の方向や距離も測っています。まさしく、「聞く」から「聴く」への変換です。さらに「ピピピ」「チュチュチュ」「チュンチュン」などの音が入っている歌を歌えば、音によるくすぐり遊びへと広がりますよ。



ななきだ まさみ  
七木田 方美 先生

比治山大学・  
比治山大学短期大学部教授

キッズサポートシステムKiss  
主宰、OmimimOプロジェクト  
展開中／研究分野は、乳幼児  
保健学（感覚の発達・アタッチ  
メント・障がい児保育）、保育  
等に関する著書・研究多数

## おすすめの絵本を紹介



### 「じゃあじゃあびりびり」

作：まついのりこ / 出版社：偕成社

赤ちゃんに身近な音を、分かりやすい絵とリズムミカルな言葉で表現した、音から世界を知る。絵本。「みず じゃあじゃあびりびり」「いぬ わんわんわんわん」など、赤ちゃんの耳に心地よい擬音語がたくさん登場します。



### 「もこ もこもこ」

作：たにかわしゅんたろう

絵：もとながさだまさ / 出版社：文研出版

やさしい言葉とリズムの組み合わせが心地よい絵本。「もこ もこもこ」「ふわ ふわふわ」など、まるで音が形になって現れるよう。子供ならではの感性が刺激される、定番の赤ちゃん絵本です。

紹介した絵本は  
広島県立図書館で借りられます

広島県立図書館

広島県立図書館

<https://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



家庭で「ちょっとやってみよう」と思える  
役立つ情報を発信中

親子コミひろしまネット

親子コミひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです！

# 「遊び」は「学び」

音との関わり編 乳児(0～2歳) シリーズ①⑥

## 音で遊んで？ どんな音が好きなの？

「トントン」「ポンポン」…。子供の耳に届く音は、世界を知る第一歩。

親子で一緒に歌ったり、手をたたいたりするだけで、

心がほぐれ、笑顔が広がります。

音を通じて親子で遊んでみましょう。



遊び 学び 育つひろしまっ子！

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」

バックナンバーはこちら ▶



# 音を感じて、笑って、育つ—— 音でつながる親子の時間

## 教えて 音のこと 音ってなあに？

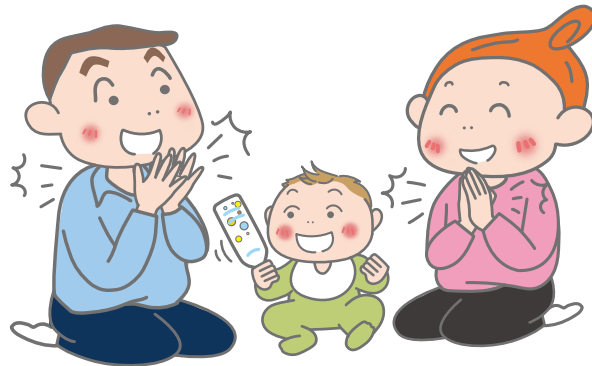
- ① 赤ちゃんはいつから音が聞こえるの？
- ② 子供はどんな音が好きなの？
- ③ 子供が同じ音を繰り返して遊ぶのはどうして？
- ④ 子供が音を楽しんでいるとき、どう関わればいいの？



子供の発達は個人差が大きく、環境によって異なります。  
子供の個性や発達のペースを大切に、温かく見守っていきましょう。

## 音で つながる 親子で一緒に 見つける世界

- ① お母さんのおなかの中にいる時に感じた振動を「音」として認識できるようになります
- ② 子供は身近な大人の声やオノマトペ、規則的なリズム音が大好き。雨や鳥の声などの自然音や生活音にも興味を持ち、自分で音を出したり、明るい音楽を楽しんだりします
- ③ 同じ音を繰り返すのは音そのものを楽しんでいるから。子供が音や言葉を発した時、目を合わせ優しく繰り返してみても。声や表情、口の動きを見ながら心地良さを感じます
- ④ 子供は身の周りの音に気づき、まねをして遊びます。子供の発する音や言葉に応えながら一緒に楽しみましょう



## 音を 楽しむ 成長に合わせた 楽しみ方

音との関わりは、子供が安心感を抱いたり、新たな気づきをもったりすることにつながります。  
年齢ごとの音遊びの楽しみ方を紹介します

おおむね

0歳

感じる・  
気付く  
力

人と  
かわる  
力

- ◆ ママやパパの声は、赤ちゃんにとって一番の「安心の音」。やさしい語りかけや歌に心地よさを感じます
- ◆ 「トントン」「ポンポン」などの繰り返しの音やオノマトペが大好きです



おおむね

1歳

うごく  
力

感じる・  
気付く  
力

人と  
かわる  
力

- ◆ 音の高低や・速さの違いに気づき、音をまねしたり、自分で音を出したりする楽しさを知る時期です
- ◆ オノマトペの響きが楽しい絵本を読んだり、日常の音と一緒に耳を傾けたりして、音を楽しみましょう
- ◆ 身近な物を叩く・振る・転がすなど、自分で音を出す体験もおすすめ

おおむね

2歳

考える  
力

うごく  
力

感じる・  
気付く  
力

人と  
かわる  
力

- ◆ 音に合わせて動いたり歌ったり、音の強弱やスピードの違いを感じながら表現できるようになります
- ◆ 自然の音を聞いて「雨がザーザー」など声に出すと、言葉の世界も広がります
- ◆ 手遊びやわらべ歌、タンバリンなどの楽器を用いてリズムに合わせて遊ぶことも楽しめます

## 音で育つ 5つの力

子供と一緒に音を聞いたり、まねをしたり、表現したり。  
毎日の「音のやりとり」が、子供の育ちにつながります。  
音を楽しみながら、親子の絆も育てましょう。

乳幼児期に育みたい

5つの力

感じる・  
気付く  
力

うごく  
力

考える  
力

やりぬく  
力

人と  
かわる  
力